

きぼうへのかけはし

基本理念 希望のある医療

リハビリテーション室のご紹介

リハビリテーション室では、各科との連携のもと患者さまの QOL の向上を目的として、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による治療(訓練)をおこなっています。

小児から高齢者までのあらゆるニーズに対応できる専門スタッフをそろえており、特に入院のリハビリでは高齢患者さまの「寝たきり」を防ぐため、早期より離床訓練や車椅子移乗の指導を積極的に実施しています。外来部門では、小児の専門スタッフによる運動発達、言語発達、学習(読み書き)の専門外来を行っています。これらの外来では保健、福祉、教育分野などと積極的に連携を行い、お子さまが地域で安心して生活できるように支援しています。



(写真) リハビリテーション室スタッフ

理学療法

起き上がる、座る、立ち上がる、歩くなどの生活するための基本的な動作の獲得訓練と、そのために必要となる筋力、関節可動域、麻痺の改善の訓練をおこないます。

(対象疾患)骨折、関節リウマチ、変形性関節症、骨粗しょう症、脊髄疾患や、精神運動発達遅滞、外科術後臥床による廃用症候群など

作業療法

理学療法が基本的な動作の獲得を目指すのに対し、作業療法では、よりいっそう生活場面に即した動作(食事をする、服を着替えるなど)の獲得を目標に訓練をおこないます。また、上肢機能の改善のためや認知機能への刺激、精神面へのアプローチの目的で作品を作るなどの作業をおこなっています。

(対象疾患)脳卒中、高次脳機能障害、骨折、関節リウマチ、臥床による廃用症候群など

言語聴覚療法

話す、聞く、食べることに関する支援をおこなっています。原因を明らかにした対処法を見出すために、検査・評価を実施して必要に応じた訓練や指導をおこなっています。

(対象疾患)高次脳機能障害、失語症、摂食嚥下障害、音声障害や、発達障害、言語発達遅滞、学習障害など

小児リハビリテーション

何らかの障害をお持ちのお子さまに小児用の訓練器具や玩具を使用して年齢や症状に合わせて楽しく訓練ができるように工夫しています。乳児の運動発達外来では、首がすわらない、這い這いしない、立てないなど発達にお悩みの保護者さまへ具体的な遊ばせ方や運動の方法を指導しています。

小児の言語発達外来では、発達障害や言語発達遅滞のあるお子さまに対して、訓練や指導をおこなっています。読み書き外来では、お子さまの学習を困難にしている原因を探り、援助の方法を見つけるお手伝いをしています。

お知らせ

ボランティア感謝の会を開催しました

平成23年9月29日にボランティア感謝の会を開催しました。

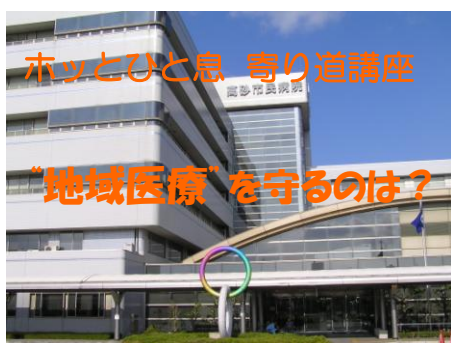
玄関案内、タオルローリング、縫製作業、小児保育、グリーン花植え付け作業など、**53名**の方々にご活躍いただいています。



日々の活動に貴重な時間を提供していただき、感謝申し上げます

「ホッとひと息寄り道講座」の開催について

先月号でお知らせしました講座を今月より開催します。お気軽にご参加ください。



日 時 毎月第2月曜と第4水曜 10時～10時30分
(祝日の場合は、翌日の同じ時間)

今月は11月14日(月)と11月24日(木)です

場 所 玄関ホール 公衆電話前

内 容 “地域医療”を守るのは？

※12月は、感染管理認定看護師が“感染”についてお話しします。

医師の異動について

10月より

外科 佐藤 雅信(さとう まさのぶ) 医師が着任しました。

11月より

脳神経外科 平松 匡文(ひらまつ まさふみ) 医師が火曜の外来診療を担当します。

※医師の異動に伴い、外来診療担当が変更となっておりますのでご確認ください。



「きぼうへのかけはし」に関するお問合せは、
地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号
TEL 079-442-3981 (内線5146)
FAX 079-443-1401
ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>